Publication number: JP1005557 Publication date: 1989-01-10

Inventor: HOGI MASAO: TAKAHASHI KAZUO

Applicant: HOGI MEDICAL KK

Classification:

-international: A61L31/00; A61B17/02; A61L31/00; A61B17/02; (IPC1-7); A61L31/00

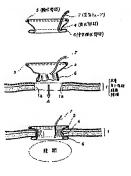
- Europeani

Application number: JP19870159644 19870629

Report a data error here

Abstract of JP1005557

PURPOSE: To prevent the invasion of bacteria, by mounting an elastically recovering annular member to one end of a cylindrical member and connecting the other end thereof to the inner peripheral part to a hollow annular member made of a flexible water impervious sheet and providing a fluid feed-in means to the hollow annular member. CONSTITUTION: A cylindrical or oval cylindrical member 4 is constituted of a flexible water impervious sheet. A elastically recoverable annular member 5 is constituted to be fixed to the upper end part of the cylindrical member while a hollow annular member 6 is constituted of a flexible water impervious sheet and the Inner peripheral part thereof is fixed to the lower end of the cylindrical member 4. When this cover is used, the air in the hollow annular member 6 is removed to bring said member to a freely deformable state and the contracted hollow annular member 6 is inserted in a cut opening 1a as shown by an arrow A and air is subsequently blown is said member 6 from an air tube 7 to inflate the same. Whereupon, the cut opening is covered with the cylindrical member 4 to be blocked from bacteria. Separation can be easily performed by the procedure opposite to the above-mentioned one.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

® 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭64-5557

(1) Int, Cl. 4

識別記号 庁内整理番号 スー6779-4C ❷公開 昭和64年(1989)1月10日

A 61 L 31/00

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

の発明の名称 医療用の切開部カバー

②特 頤 昭62-159644

②出 顧 昭62(1987)6月29日
☆ 明 者 保 木 将 夫 東京都文京区務島1丁目12番4号 株式会社ホギメディカ

②発 明 者 保 木 将 夫 東西部文瓦区務局1 1 日12会4号 体式会社ホインノール ルウム ロー 本 首前部で京区港島1 丁日12番4号 株式会社ホギメディカ

母発 明 者 高 橋 一 夫 東京 ル内 の出 顧 人 株式会社 ホギメディ 東京

ル内 東京都文京区湯島1丁目12番4号

の出 願 人 株式

20代 理 人 弁理士 秋本 正実 外1名

93 **att** .

/ . 発明の名称 医療用の切開節カバー

2.特許請求の範囲

(a)素軟な不潤水性のシート状材料によって質 状の部材を構成し、(b)上記筒状態材の一編に、 現住的に延光する輸状の部材を取りつけると共に、 (c)試質状部材の協働を、素軟な不損水性シート 質の中恋模状部材の内局部に接続し、かつ、(d) 上記中恋複状部材に残れを送入して配うませたり 洗体を拡き出して濁ませたりする手段を設けたこ を物態とする磁巣用の切断部メバー。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

水発明は、切削手術を行う際にその切口に 軽磁 などが扱入しないように保度するカバーに関する ものである。

[継来の技術]

例えば開腹手裙を行う場合、手術野及びその周 辺の皮膚を消跡し該切隔部の周囲をカバーした後 ヒメスが入れられる。

然し、皮膚袋師を消率しても、秤葉や皮脂類の 実まで完全に減額することは困難である。この為、 時間が経過すると、常在菌が移行して切口に付着 する点れがある。

こうした不具合を解消するため、使来において は第4回に示すように切開予定部の外盤構造 1 (皮膚、皮下脂肪、図面・腹関)の上に、粘液剤 2 bを介して柔軟なフィルム2 a (倒えばウレタン オルム)が指定される。そして、メス3によっ て上記フィルム2 a を一緒に切開すると、第5回 に示す状態となり、皮膚製画から杯と共に常在画 が排出されて切口1 a に 侵入することが助止され

[発明が解決しようとする問題点]

本発明は、初開部の切口を直ちに覆って常在南

の侵入を防止することが出来、しかも迅速・容易 に数者。離脱し得る切隔部カバーを提供しようと するものである。

[問題点を解決するための手段]

上記の目的を達成する為、本発明の切開部カバーは、(a)素軟な不適水性のシート 材材料によって前状の部材を構成し、(b)上面間状部材の一幅に、現性的に復元する輸状の部材を取りつけると共に、(c)数限状部材の他綱を、柔軟な不適水性シート観の中空環状部材の内周部に接続し、かつ、(d)上記中空環状部材に強体を選入して影らませたり液体を抜き出して要させたりする手段を設けたものである。

本発明において簡状とは、立体数何学的に厳密 な簡状であることを要せず、健体の関節をカット した形や、被形 (ヒンドレ状) の質面形状を食む される。

上記のように構成したカパーは、中空環状部材 に流体 (例えば空気,又は水)を吹きこむと浮輪

本実施例のカバーを使用するには、数と限に禁 すように中型度が影材8の中の空気を扱いて、自 なに変形せし。時名状態とし、要ませた中空質状 能材8を共和人のおく切口1.4月に挿入した後、 これに空気を吹きこんで膨らますと第3回に戻し た状態となり、切口は微状部材4で更われて軽幅 から返防される。離脱は上記と途の手順で容易に がいばる。

前述の如く構成したカバー (第1図)は、減資 包数しておく。使用に煎して、開封の検査ちに切 額部に数者し得る為である。

[発明の効果]

[作用]

以上即述したように、本発明を適用すると、切 関部の切口を選ちに覆って細菌の侵入を助止する ことが出来、しかも迅速、客器に装着、離説する ことが出来る。

4. 同所の領域な説明

第1回乃至第3回は本発明の1実施例を示し、 第1回は新面回、第2回は获着方法の説明図、第 3回は複雑完了状態の新面図である。 のような形に立体形状を整えることが出来る。

このため、該中空間状態材内の洗体を抜いた状態で要ませ、これを切開節に押しこか、現性権状節材を体外に残しておいて、前記中空観状態材に 液体を送入して影らませると、面状の柔軟なシートが切断部の切口に由楽してこれを保護する。

第1回は本発明の1実施例を示す南面圏である。 兼軟な不適水性のシート (例えばビニールシート) によって円筒状乃率特円筒状の弾状部材4 を 構成 する。本実施例においては、若干上開き方向の円 軽状に構成してある。

弾性的に復元可能な輸状の部材(例えば無端環状に接続した無長いコイルパネ) 5 を構成し、前記筒状部材の上端部に固着する。

一方、柔軟な不透水性シート(ビニールシート) によって中空環状の部材6を構成し、その内周部 に前配筒状部材4の下解を固着する。7は、上配 中空環状部材6に進進図滑した空気チューブであ

第4回及び第5回は従来の切蹋部カバーを説明 する為の新面図である。

4 … 筒状部材、5 … 輪状部材、6 … 中空気状部材、7 … 空気チューブ。

特 許 出 顧 人 株式会社 ホギメディカル 代理人 井理士 秋 本 正 英(外1名)

